

雪嶺集

〈宮坂静生鑑〉



秋

小林貴子

行く秋や雨を灯せる川燈台（大垣六包）

大垣の八重の十月桜かな

早稲の香や別れを悲しがる芭蕉

無用の用ぶら下がりをる芭蕉の実

紅萩に雨もまた良しむすびの地

皆既月蝕大垣の川湊

つりがねにんじんりんりと鳴る登り窯

頭頂へ抜けて木遣や秋の暮（米寿祝三句）

我もまたすみっこぐらし虚栗

天高し米寿界限えいえいおう